



# はんだ山の風



病棟から浜松市街を望む

## Contents

- P.2 地域医療と大学病院 事務局次長(病院担当) 中西 治幸
- P.2 新任医師の紹介 麻酔科蘇生科診療助教 加藤 弘美
- P.3 災害トリアージ訓練を終えて 医事課
- P.3 ポットマムの贈呈式がありました。 医事課
- P.4 シリーズ最先端医療  
「地域に還元される先進医療を目指して…輸血細胞治療部」  
輸血細胞治療部長 竹下 明裕
- P.4 保険診療の講演会を開催しました 医事課診療報酬請求係
- P.5 病気 ここが知りたい「廃用症候群」  
リハビリテーション科准教授 美津島 隆
- P.5 医療安全講習会が行われました 医療安全管理室
- P.6.7 仮設外来棟・外来棟3階のご案内
- P.8 交通のご案内



## 浜松医科大学医学部附属病院 常勤・パート看護師募集

お問い合わせ

- 人事課任用係 TEL.053(435)2117
- 看護部事務室 TEL.053(435)2627

## 病院の理念

患者さんの人権を尊重し、地域の中核病院として安全で良質な医療を提供する。  
さらに、大学病院として高度な医療を追求しつつ優れた医療人を養成する。

## 基本方針

- 患者さんの意思を尊重した安心・安全な医療の提供
- 社会・地域医療への貢献
- 良質な医療人の育成
- 高度な医療の追求
- 健全な病院運営の確立

## 地域医療と大学病院

事務局次長(病院担当) 中西 治幸

新臨床研修制度導入(平成16年度)以前の大学病院の役割については大きく分けて二つありました。一つは地域の診療所や病院等で手当ができない難病、重病、まれな病気に対する高度な医療の提供です。もう一つは医局の機能でもありますが、国家試験に合格した多くの医師は卒後大学医局に所属したため、大学病院で教育を受けた医師を山間部や民間の病院へ派遣し、高度な先進医療技術を広く普及させることでした。

ところが新制度導入後、研修病院の拡大と学生の自由裁量に任せること等による偏在がおり、地方と特定診療科(産科、救急等)の医師不足が顕著となり、県内においても様々な問題が発生し、一部地域では深刻な医師不足となっています。大学医学部の入学定員の増加、特定診療科への診療報酬上のインセンティブなどの対策は講じられていますが、即効性のある改善策はなかなか

難しい状況にあります。

本院におきましては静岡県と協同して、地域医療再生臨時特例交付金を活用し、周産期医療従事者育成事業など様々な事業を今年度から実施することとして

います。また、「ふじのくに地域医療支援センター」及び地域中核病院と連携し、魅力ある研修プログラムにより後期研修医の獲得に努めているところです。

これからも地域の病院、診療所との連携強化を図り、最後の砦として安心安全な医療を地域の皆様に提供していきたいと考えていますのでご支援をお願いいたします。



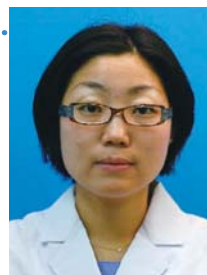
## 新任医師の紹介

麻酔科蘇生科診療助教 加藤 弘美

10月1日より浜松医科大学麻酔科蘇生科に勤務させていただいている加藤弘美です。平成17年に浜松医科大学を卒業いたしました。卒業後、当院にて臨床研修を終え、その後県西部浜松医療センター、聖隷三方原病院を経て、平成20年より麻酔科蘇生科にて勤務しておりました。平成21年からフランスのパリ第11大学へ2年間の基礎留学をし、低酸素状態における活性酸素の産生とミトコンドリアの関連性をテーマとした研究を行っておりました。本年10月から再び当院にて勤務しております。当院の麻酔科蘇生科はその名の通り「麻酔」のみならず「蘇生」も行っており、ICU業務も担っております。また、ペインクリニックや無痛分娩など、幅広い分野も担っております。麻酔蘇生学講座としては、現在日本で最

も用いられている揮発性麻酔薬「sevoflurane」の開発に携わった由緒ある講座です。

私事なのですが、実は出生したのは開院間もない当院でした。このような縁のある病院で働けることを大変うれしく思っております。まだまだ未熟ですが、精一杯努力したいと思っておりますので、皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。





## 災害トリアージ訓練を終えて

平成23年12月19日（月）11時46分「浜松市内に震度7の地震が発生し、洪水、家屋の倒壊、火事などにより、多数の傷病者が浜松医大病院に駆けつけている」という想定のもと、トリアージ訓練は開始されました。

学生20名は模擬患者です。念入りに特殊メイクを施され迫真の演技を見せてくれました。

当日は15時から病院玄関での受付が始まり、第一トリアージ・・・職員が患者さん或いは患者付添い人からケガや病気の状況、氏名、住所、連絡先等を確認し、トリアージオフィサーと呼ばれる医師が黒、赤、黄、緑の4つのゾーンに患者さんを振り分けていく。

第二トリアージ・・・外来各ゾーンにおいて色分けされた患者さんごとに適切な処置、記録、搬送等を行う。救急部の先生方は隅から隅まで会場を見渡しなが指示を出してくれました。

皆の演技に引き込まれ、臨場感あふれる訓練となりました。約一時間の訓練はあっという間に終わり、もし本当に地震があったら・・・。「もっと早く、もっと的確に対応しなければならないのだ。」と気持ちを新たにしました。今回の訓練は先の東日本大震災の教訓からより実践的なものになりました。東海地震の可能性が叫ばれる中、この訓練は大変有意義なものでした。

医事課



## ポットマムの贈呈式がありました。

10月11日に庄内中学校の生徒の皆さんからポットマムの贈呈がありました。これは庄内中学校の皆さんが丹精こめて育てたもので、来院される患者さんや職員の心が癒されることを願って贈られました。今年もたくさんの鉢が病院2階ホールに並びました。

庄内中学校の皆さん、ありがとうございました。

医事課





## 地域に還元される先進医療を 目指して… 輸血細胞治療部

輸血細胞治療部長 竹下 明裕

輸血細胞治療部は病院内の輸血の安全性を第一に、輸血製剤と血漿分画製剤の適正化、細胞治療、そして院内特殊製剤の供給を行っています。これらは全国の大学病院のトップクラスにランキングされています。安全面では最新の照合システムを導入し、血液型や交差適合試験のための採血から患者さまの名前とリストバンドで照合し、検査や輸血の最終段階までをIT化してあります。加えてこれら全ての段階で人的にも2重の確認作業を入れています。患者さまには輸血に関して事前に十分理解していただくために専門のスタッフによる説明を行い、ご質問をいただける機会と時間を設定しています。適正化では、厚生労働省の輸血ガイドラインに準拠し、最小限の輸血製剤使用で最大の効果を引き出す努力をし、輸血の副作用の頻度の減少に貢献しています。結果的に輸血の適正使用指数は大学病院のトップ5に位置し、廃棄血は最小です。輸血後の感染症は輸血医学の進歩により少なくなりましたが、患者さまが不安を覚えます。当院では輸血後にも感染症のチェックを励行し、安全性を高めています。

高度先進医療として当施設はCell Processing Unit (CPU, 写真)を保有しています。NASAの清浄度指数で100以下の無菌室内で幹細胞を分離・濃縮、加工でき、厚生労働省の厳しい基準もクリアしています。CPUは中部圏では名古屋大学、愛知医科大学と本施設のみであり、免疫力の低下した症例にも汚染のない幹細胞が供給され、造血幹移植を中心とした再生医療をより安全に行うことができます。さらにCPUでは輸血にアレルギーを保有し輸血を伴う治療ができない患者さんに洗浄血小板等が作成され供給されています。他に院内調整製剤としては凝固の最終段階に働くフィブリノーゲンを多く含んだクリオプレシピテートが倫理委員会の認可のもとに作成され大量出血を伴う手術時の効果的な止血に役立っています。優れた手術成績を下支えする最新の医療を取り入れ、高度先進医療を地域の皆さまに還元するための努力を継続的に続けています。



### 保険診療の講演会を開催しました

9月14日(水)午後5時30分より本学多目的ホールにおいて、保険診療の講演会を開催しました。

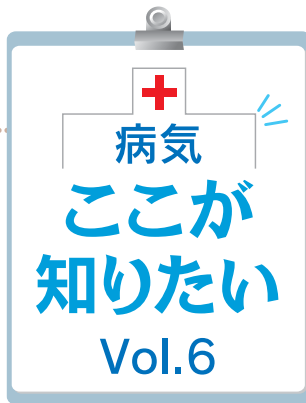
三重大学医学部附属病院診療情報管理士 重岡真実氏を講師にお迎えして、「三重大学附属病院の戦う診療情報管理士」と題して講演が行われ、三重大学医学部附属病院における診療情報管理士としてのこれまでの取組が紹介されました。入院費のDPCと出来高の比較算定例や、医学管理料等の算定における注意点等、具体的な事例や体験談を交えて貴重な話を伺うことが出来ました。

保険診療の質的向上及び適正化を図ることを目的に、年2回開催しているこの講演会を通じて、当日は本学職員ならびに近隣の医療関係者ら130名以上が出席し、有意義な機会となりました。

医事課診療報酬請求係







## 「廃用症候群」

リハビリテーション科准教授 美津島 隆

「廃用症候群」は日常的な活動の低下、あるいは疾病等の何らかの原因により長期臥床を余儀なくされたために生じる二次的な障害（disabilities）に対して用いられる「症候群」である。この長期臥床による弊害は筋肉、骨、皮膚だけでなく、心臓、腎臓、肺、脳、消化器系、泌尿器系といった多臓器にわたるため、治療法は難しく、もっぱら予防が重要となる。

1863年 John Hiltonらによるいわゆる「ベッド安静による治療効果」に関する著書は、ほとんどそれを支持するエビデンスもないまま、80年以上も信じられてきたが、第二次世界大戦末期になり、欧米では、戦時の医師不足、病床不足と相まったこともあり、early mobilization の重要性を示唆する研究がみられるようになった。その結果、早期離床が勧められるようになり、適度な活動

が、二次的障害の予防には必要であるということが、医療現場に浸透していった。

こうした時期にリハビリテーション医学が臨床医学の新しい分野として独立した。そこでリハビリテーション医学は廃用の予防を重要な概念の一部として位置づけ、障害者の機能・能力の回復と向上をめざした。

折しも、1960年代の宇宙医学の発展とともに、宇宙飛行により起立性低血圧や筋の萎縮、肺活量の低下、骨粗鬆症など廃用症候群と同じような症状が起こることがわかり、不活動を長く続けることの生体への悪影響が実証され、その分野からエビデンスのサポートも受けるようになった。

実は欧米では用語としては統一されていないが、日本においては「廃用」という言葉で統一されてきた歴史的経緯がある。しかし日本においても最近では、「廃用」という言葉にイメージが悪いとして「不活動症候群」「生活不活発病」などといわれることもある。

## 医療安全講習会が行われました

9月12日（月）全職員を対象とした第1回医療安全講習会が行われました。

福島県立医科大学病院、医療安全管理部 部長、橋本重厚先生による講演テーマは「大地震・津波・原子力発電所事故、複合災害時の危機管理の経験」でした。

3月11日の東日本大震災および大津波とそれに引き続き発生した原子力発電所事故に関する体験に基づいたお話は非常に興味深いものでした。

福島県立医科大学と同様、浜松医大も浜岡原子力発電所に近いことから、原子力災害に対しどのような備えが必要かという点は、特に参考になりました。

医師、看護師を始め様々な部門から350人程が出席し、静岡県の災害拠点病院として浜松医大の果たすべき役割を全職員が再認識する良い機会となる講演でした。



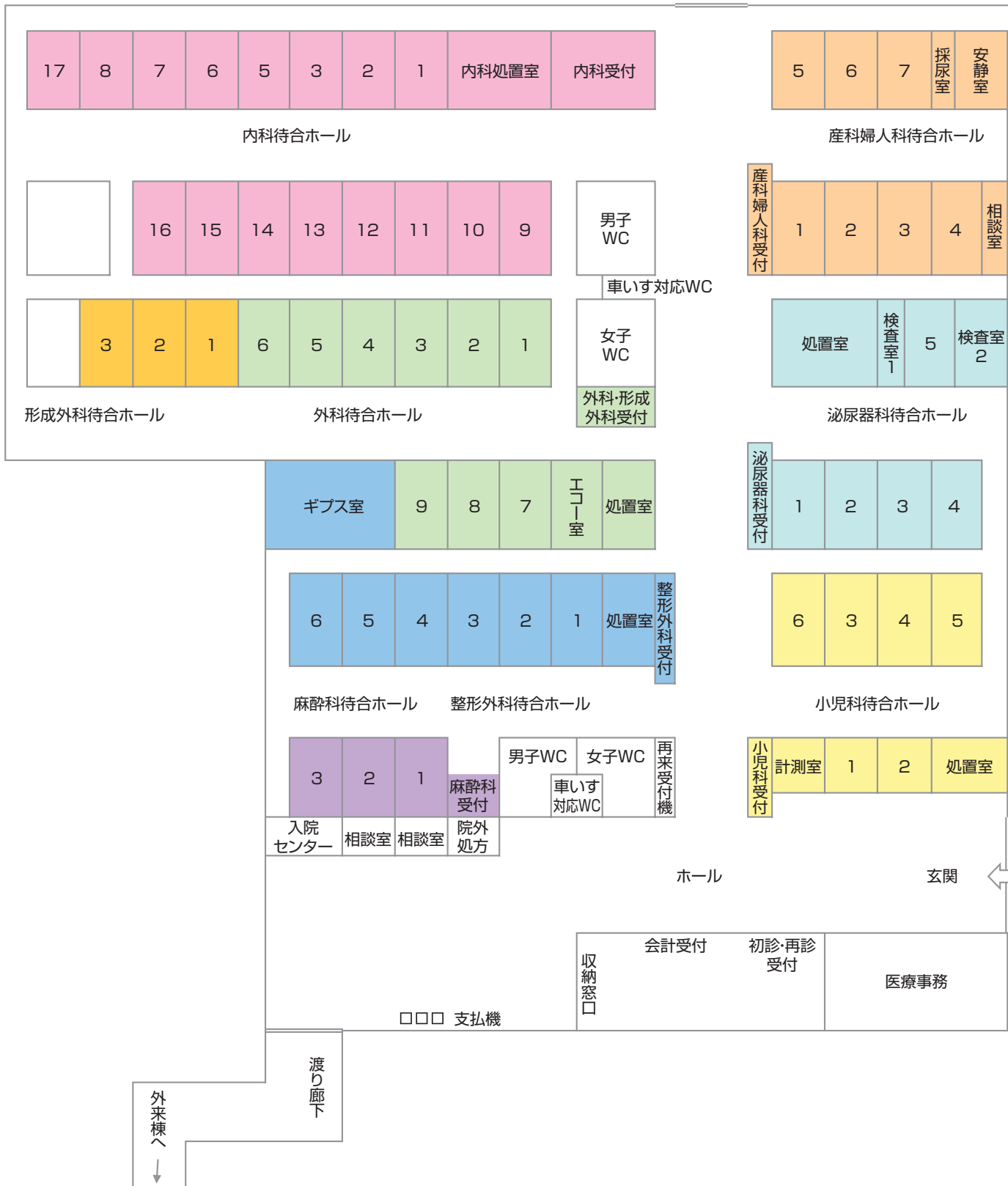
医療安全管理室

# 仮設外来棟・外来

## 仮設外来棟

平成24年1月4日から仮設外来棟での診療が始  
また,外来棟3階の改修工事が一部

バス停/ロータリー



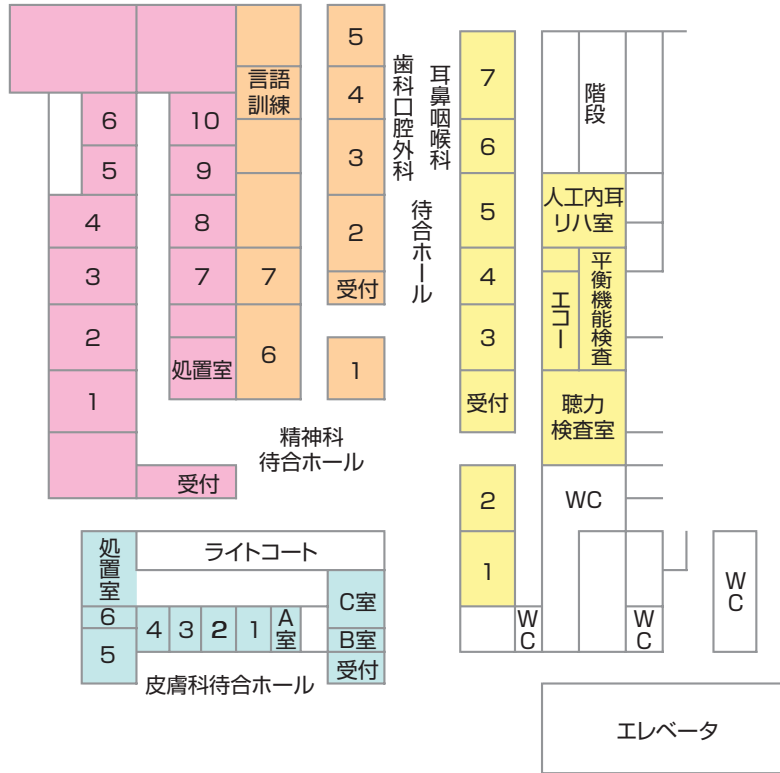
# 棟3階のご案内

まりました。ここでは、8診療科が診療を行います。  
終了し、4診療科が診療を行います。

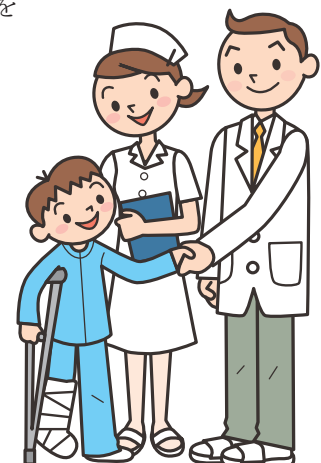
## 外来棟3F

通路

通路



この仮設外来棟は平成24年12月まで診療を行う予定です。  
仮設のため、狭いところや使い勝手の悪いところ等ありますが、  
職員一同不足のないよう取り組む所存です。  
お気づきの点があれば、職員またはご意見箱へご意見、ご要望を  
お寄せください。



# 外来診療日一覧

診療科名	診療日										備考	
	初診					再診						
	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金		
内科 435-2632												
総合内科(初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
第一内科(消化器内科)	○	○	○	※○	○	○	○	○	※○	○		※午後診察のみ
(腎臓内科)	○	○	○		○	○	○	○		○		
(神経内科)	○	※○	○		○	○	※○	○		○		※午前診察のみ
第二内科(肝臓内科)	○	○		○	※○	○	○		○	※○		※予約のみ
(呼吸器内科)	○	○		○	○	○	○		○	○		
(内分泌・代謝内科)	○	○		○	○	○	○		○	○		
第三内科(血液内科)	○	※○	○	○	○	○	※○	○	○	○		※午後診察のみ
(免疫・リウマチ内科)	○		○	○	※○	○		○	○	※○		※午前予約のみ
臨床薬理内科	※○			※○		※○			※○			※予約のみ
循環器内科	○		※○	○	○	○		※○	○	○		※午後診察のみ
ペースメーカー外来								※○				※午後(予約のみ)
ピロリ菌外来(自費診療)	※○					※○						※予約のみ
精神科神経科 435-2635												
(初診・再診)	○	○	○	○	○		○	○	○	○		
(森田療法)								※○				※午後診察のみ
(児童思春期)							○		○			
(摂食障害外来)								※○				※午後診察のみ
(認知療法外来)									○			
第一外科 435-2641												
(呼吸器)			○		※○			○		※○		※午前診察のみ
(小児)		※○					※○					※午後診察のみ
(消化器・内視鏡)	○		○		○	○		○		○		
(乳腺)	○	○			○	○	○			○		
心臓血管外科(初診・再診)	○		○		※○	○		○		※○		※予約のみ
第二外科 435-2642												
(初診・再診)	○	○	○		○	○	○	○		○		
(腸管)	○					○						
(食道・胃)			○					○				
(肝・胆・膵・門脈)					○					○		
(血管)		○					○					
(緩和ケア外来)				○					○			
光学医療診療部			○					○				
脳神経外科 435-2644												
(初診・再診)	○	○		○	○		○		○	○		
整形外科 435-2647												
(初診・再診)	○		○	※○	○	○		○	※○	○		※午前予約のみ
(教授外来、脊椎)	○			※○		○			※○			※午前予約のみ
専門外来(骨粗鬆症)				※○					※○			※午前診察のみ
(リウマチ)			※1○	※2○				※1○	※2○			※1午後診察のみ ※2午前診察のみ
(手・末梢神経)			※○					※○				※午前診察のみ
(脊椎)	※○					※○						※午前診察のみ
(腫瘍)			※○					※○				※午後診察のみ
(股関節)					※○					※○		※午前診察のみ
(肩関節)					※○					※○		※午後診察のみ
(膝関節)					※○					※○		※午後診察のみ
(小児整形)	※○					※○						※午後診察のみ
皮膚科 435-2650												
(初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
(乾癬外来)			○					○				
(アトピー外来)	○		○			○		○				
(光線過敏症外来)		※○					※○					※奇数月第4週のみ
(脱毛症外来)	○					○						
泌尿器科 435-2653												
(初診・再診)	○	○	○	○			○	○	○			
(腎移植外来)			※○					※○	○			※第1週・第3週のみ
(結石外来)		○		○			○		○			
(排尿障害外来)		※○					※○					※午前診察のみ
(不妊症外来)	※1○				※2○	※1○				※2○		※1午後診察(第2週は休診)のみ ※2午後予約のみ
(前立腺密封小線源外来)		※○					※○					※午前診察のみ



診療科名	診療日										備考
	初診					再診					
	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	
小児科 435-2638											専門外来午後の再診は、全て予約制
(初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
(小児遺伝)		※○					※○				※午後(完全予約制)
(内分泌)	※1○	※1○		※1○	※1○	※2○	○		※1○	○	※1午前診察のみ ※2はAMと15時から
(心臓)		※1○		○	※2○		※1○		※2○	※2○	※1午前診察のみ ※2午後予約のみ
(血液)									※1○	※2○	※1午後診察のみ ※2第2・3・4週午後診察のみ
(アレルギー)	※2○			※2○		※1○			※2○		※1午前・15時から(予約のみ) ※2予約のみ
(神経)				※○	※2○		※1○		※2○	※2○	※1予約のみ ※2午後は予約のみ ※は午前のみ
(腎臓)				※○	※○				※○	※○	※午後診察のみ(予約)
(新生児フォローアップ)							※1○		※2○		※1午後診察のみ ※2不定期
(乳児検診)	※○					※○					※午後(予約のみ)
(内分泌フォローアップ)										※○	※午後(予約のみ)
眼科 435-2656											
(初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
専門外来(網膜変性外来)						※○					※第4週午後のみ
(小児・弱視斜視外来)								※○			※午後予約のみ
(ロービジョン)										※○	※午後予約のみ
耳鼻咽喉科 435-2659											
(初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
特殊外来(腫瘍外来)	○					○					
(耳外来)				○					○		
(めまい外来)				※○					※○		※予約のみ
(耳鳴外来)		○					○				
(難聴外来・人工内耳外来)		○					○				
(睡眠時無呼吸・顔面神経外来)					○					○	
(鼻副鼻腔・アレルギー外来)				※○					※○		※午後予約のみ
産科婦人科 435-2662											女性医師ご希望の方はお申し出ください
(初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
(婦人科外来)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
(産科外来)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
(腹腔鏡外来)		※○					※○				※午後予約のみ
(不妊外来)						※○	※○		※○	※○	※午後予約のみ
(光療法外来)			※○					※○			※午後予約のみ
(母親学級)							※○				※予約制
(女性漢方外来)	※○					※○					※第2・4週予約制
放射線科 435-2665											
(放射線治療外来)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	午前のみ
(アンギオ外来)		○		○			○		○		午前のみ
麻酔科蘇生科 435-2668											
(初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	午前のみ
リハビリテーション科 435-2747											
(初診・再診)		○	○	○			○	○	○		
形成外科 435-2647											TELは外科と共用
(初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		午前診察のみ
歯科口腔外科 435-2673											
(初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
(唇顎口蓋裂外来)				○					○		
(インプラント外来)				○					○		
(顎補綴)			※○						※○		※診察日は外来にお問合わせください

診療受付時間

一般外来 午前8時30分～午前11時まで  
 専門外来  
 専門外来 午後0時30分～午後2時まで

休診日

土曜日および日曜日  
 祝日法による休日  
 12月29日～翌年1月3日まで

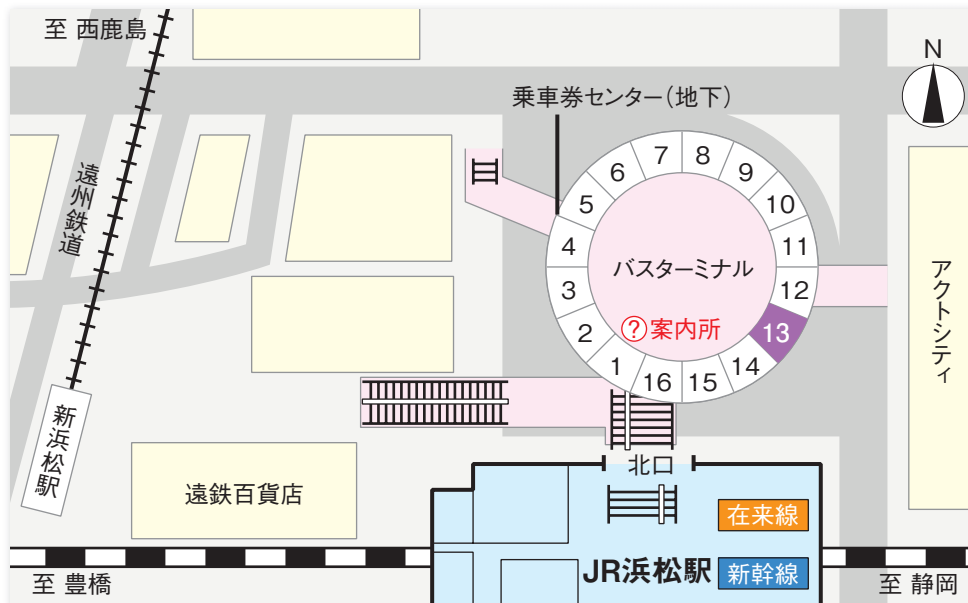
# 交通のご案内



## ●バスをご利用の方

バス乗り場	路線番号	路線名称等	所要時間	料金
13番ポール	50	磐田山の手線医大行き	約35分	410円
	57	医大循環(中央署まわり)	約35分	410円

## ●浜松駅からバスターミナルまで



病院広報 **ほんだ山の風** 第6号 平成24年1月発行

発行／浜松医科大学医学部附属病院広報推進委員会 〒431-3192 浜松市東区半田山1丁目20番1号  
 TEL.053(435)2111(代表) FAX.053(435)2153(医事課) Hpアドレス/ <http://www.hama-med.ac.jp/>